



# 陽気だより

No95

2015.2.15

●ホームページからも「陽気だより」  
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和34年8月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で66年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

子に学ぶべきこと

## 子どもは神

岩井孝一郎

(本部准員、教区課長 昭和三十四年当時)

### その場のウン

小学校に行っていた子が、何か悪いことをしたので、母親がいろいろと注意をしていた。強情な子供は大きな眼をむいて、母親をにらんだまま、なかなか詫びない。女親では駄目だと思ったので、私が、「坊や、本当のことを言いなさい。本当のことを言ったら許してやるから」と、にらみつけていると、子供もかんねんしたのか、きつと改まって、「お父さん、本当のことを言ったら許してくれるか」「許すとも。子供は正直でなければいけないよ。お父さんは正直な子供が大好きだよ。さあ話しな、許してやるから」

「実は僕がおどかしてやったんだよ。なぐって泣かしたんだよ」

と打ち明けました。ところが私は、それを聞くなり、「何とということをしたのか。ひどいやつだ。そんなことをしていいと思っているのか。この馬鹿者め」

と、口きたなくどなりつけると同時に、子供の襟をつかんで、おしりを二つ三つなぐって、押入れに入れてしまいました。子供は烈しく泣き叫びました。

「お父ちゃんの大うそつき。本当のことを言ったら許すと言いながら、本当のことを言ったのに、なぐってこんなところに入れやがって。これから誰が本当のことを言ってるのか。くそ……」

と、とても大きな声で泣いて、だだをこねました。たたかれての痛みよりも、親にだまされた、くやしきの泣き声でしょう。

### ごまかしは禁物

私は、この子供の叫びを聞くと同時に、はっとしました。神様の御声のように思えたのです。

「そうだ、本当のことを言ったら許すと言ったので、子供は本当に許されると信じ、言いにくいことを告白したのに、反対に、叱られ、なぐられて、押入れに入れられたのですか

ら、それを怒っている。私は夢中で押入れの戸を開けて、子供を出そうとしました。

しかし、子供はなかなか出ようとしません。「うそつき」と盛んに叫んでいます。

「坊や、お父ちゃんが悪かった。うそをついてすまなかつた。許してくれ」と言いながら、やっと子供をつかまえて押入れから出して、両手で抱いて、

「お父ちゃんが悪かった。坊やが正直に言ったのに……」と、口では坊やに詫び、心は神様に一生懸命に詫びておりました。



## 『陽気』読者のひろば

### 投稿募集中

**内容**…父母のこと、私の信仰、子へ伝えた  
 いこと、心に残る体験、生活の知恵、  
 おやさど紀行、天理教への夢、社会  
 への提言、その他、『陽気』誌につい  
 てのご意見、ご感想など。

**枚数**…四百字詰め原稿用紙三枚まで。  
**備考**…原稿末尾に住所・氏名（匿名可）・  
 年齢・職業・電話番号を明記。

#### 送り先

掲載に際しては、ページの都合上、  
 一部編集させていただきまます。掲載  
 に関する問い合わせ、二重投稿はお  
 断りいたします。原稿は返却いたし  
 ません。掲載の方には薄謝を呈呈。  
 〒632-0016 奈良県天理局私書箱十五号  
 養徳社「読者のひろば」係  
 FAX 〇七四三二六三一八〇七七

Facebook で最新情報をチェック！  
<https://www.facebook.com/yotokusha>

この私の気持が子供に通じたのか、しばらくすると、やっと子供が泣きじゃくりながら静かになりました。

私は、ほっとしましたが、あとで考えたとき、私はよく子供に素直に詫びたと喜んでいました。

もし子供が「お父ちゃんのうちそつき」とどなったとき、「何を言っているんだ。悪いことをして、文句を言うヤツがあるか」と、父親の権威を示すつもりで、どなり返していたら、どうなったでしょうか。子供はそのときから、大人というものはうそをつくものだ、親というものは大うそつきだと思ってしまうでしょう。子供の美しい心に、こんな汚い思いをさせたら、成人した今日、ゆがんだ人生

を通ったことでしょうか。

私もこの事件以来、子供と約束したことはなるべく実行するように気をつけるようになりました。

また、子供だからといって、決してごまかしをやってはいけないことをしみじみ教えられました。

現在は、中学校、あるいは高校へ行くようになった子供に対しては、私は友達のような気分で接しています。その方が子供との間柄もいいし、また、注意した場合、子供が素直に受け取ってくれるようです。

「子供は神様やで。親の心づかいで自由自在」という意味のお言葉もあり、また、子供は親の鏡である、とも悟られます。

## 『陽気』定期購読

定期購読料金 1年分  
 3,420円 (送料込)

**お**店まで買いに行くのが大変。  
 忙しくて購入するのを忘れた。  
 定期購読はそんな手間を省きます。  
 毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。  
 (例: 3月号は2月20日)



購読に関する問合せ先 ☎ 0120-920-398 養徳社 業務部窓口

### ◆新刊・発売中◆

## 新・樺太伝道物語

—サハリンへ渡った伝道者たち—

天理教北海道教務支庁編  
 養徳社刊

極寒の地・樺太(サハリン)には  
 終戦前まで五十五カ所の教会があった  
 戦後七十年 新たに掘り起こした  
 樺太伝道の歴史と布教師たちの信仰



旧樺太・豊原駅(上)と大通り(下)  
 かつて樺太には40万人の日本人が住んでいた

A5判・224頁・定価=1,200円+税

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。  
 <書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号 00990-3-17694番 加入者名 (株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部